



我が心の西条

第九回
歴史小説家 菅 靖 匡

▼人口のうごき

人口 114,766人 (+32人)
 男 55,128人 (+20人)
 女 59,638人 (+12人)
 世帯 49,476世帯 (+20世帯)
 平成24年10月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

あつという間に12月。小さい頃は、クリスマスにプレゼントをもらうのが何より嬉しかった気がします。それが成長するにつれて、もらえるのが当たり前で、自分の希望と異なっていた場合など、機嫌が悪くなってしまうたりと…。プレゼントには色々な「思い」が込められていることに気がついたのは、就職して、多くの方々とつながりながら、仕事をするようになってからのような気がします。この冬は「感謝」の思いを込め、身近な人たちに何か贈ろうかな? 結局思いだけになったりして…。(し)

古戦場の史跡は、現在の西条地区の市街地にもあります。例えば、JR伊予西条駅から少し西に進んだ所、アーケード商店街に入る四つ角周辺も、そうした場所の一つです。かつて、天下統一を望んだ羽柴(後に豊臣)秀吉が、四国へと攻め込んで来たころ、その辺りは徳常寺の境内でした。時に天正13(1585)

5)年7月中旬、すなわち地元でいう「天正の陣」が勃発した当時、徳常寺の住持は任瑞さんと申されました。以前にも語ったとおりこの一大決戦は、東予地方の武将や家来衆ばかりではなく、地元住民すべてを巻き込んだ総力戦となりました。そんな中この任瑞和尚さん、大変な怪力だったそうで、いざ敵勢が攻め寄せて来た時には、なんとお寺の墓地に駆け込んで踏ん張るや、次々と墓石を持ち上げて投げつけ、近寄る者もなかったと伝わっています。そして、禎祥寺(今日、見事な藤の花で知られる観音堂の辺りにあった)の住持・林瑞和尚という人とともに奮戦しましたが、その甲斐なく両寺は消失、両和尚も相次いで戦死しました。

ともあれ、任瑞さんの死を悼んだ地元の人々は、五輪塔を徳常寺の境内に建てお祀りし、そして現在に至ってもなお「五輪さん」「なぎの木さん」と呼んで敬愛しつつ、手厚い供養が続けられています。今も大切にお祀りされ続けている五輪塔



「徳常寺遺蹟」と記された石碑の向こうには西条図書館の姿が…



今も大切にお祀りされ続けている五輪塔

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.88 キンクロハジロ (冬鳥)

全長40cm、金色の眼、黒い羽根に白い翼帯があることからこの名前が付きましました。雄は後頭にある冠毛と脇腹の白色が特徴的ですが、雌は地味な黒褐色。よく水に潜り貝や水生昆虫、小魚をエサにしている「潜水ガモ」です。西条では少数派のカモですが、黒瀬ダム湖、加茂川河口や丹原町の兼久池などで見られます。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

食卓に安心を  **和牛専門**

TAJIMA

西条市氷見 とうしょく氷見店内 ☎0897-57-7071
 西条市丹原町とうしょく丹原店内 ☎0898-68-0040

くらしのおうえんたい

毎月10日はとうしょくの日

店内全品10%引き

(一部除外品もあります)

とうしょく氷見店 TEL0897-57-7157
 とうしょく丹原店 TEL0898-68-3240

